

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第73号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年3月19日 16時18分ごろ	
発生場所	京浜港東京第3区青海ふ頭 (概位 北緯36°3′ 東経139°47′)	
事故等調査の経過	平成21年3月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{ティエス インチョン} TS INCHEON (リベリア共和国)、23,828トン 9122447 (IMO 番号)、MAGNAVIA SHIPPING CORPORATION B 貨物船 ^{グローリー オーシャン} GLORY OCEAN (香港)、9,954トン 9338280 (IMO 番号)、HAI HUA SHIPPING CO.LTD	
乗組員等に関する情報	A 船長、ポーランド共和国国籍 B 船長、中華人民共和国国籍	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷船尾部破口 B ハッチカバー凹損、右舷外板擦過傷、右舷コンテナ架台損傷、コンテナ2個傾斜、コンテナ破損、積荷散乱 青海ふ頭 青海バース岸壁コンクリート部損傷、岸壁照明設備損傷、防舷材損傷	
事故等の経過	A船は、青海ふ頭A2バースに係留して荷役中、B船は、青海ふ頭A1バースでの荷役終了後、タグボートを使用せず、離岸作業を開始した。B船は、強風を受けて岸壁側に圧流され、B船の右舷船尾がA1バースに数回接触しながら前進し、平成21年3月19日16時18分ごろ、B船の右舷中央部付近がA船の左舷船尾部分に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、最大瞬間風速 南南西 約7m/s 海象：潮汐 下げ潮末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり B船が、タグボートを使用するなど、風圧流を考慮した離岸操船をしなかったことから、バウスラスタの推力量では足りずに強風を受けて圧流された可能性があると考えられる。
原因	本事故は、京浜港東京第3区において、A船が係留中、B船が離岸作業中、南風が吹く状況下、B船がタグボートを使用するなど、風圧流を考慮した操船をしなかったため、岸壁側に圧流され、A船に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	